

2018（平成 30）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2019（令和元）年 7 月 13 日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規定第14章（自己点検・評価・検証）第55条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2019（令和元）年 7月 13日

作成者：松本明世（委員長）、和田政裕（副委員長）、石黒直哉（委員）、古旗賢二（委員）、一色恭徳（委員）、内田昌希（委員）

I 規程及び体制等の整備状況

1) 機関内規程

[現状と点検・評価]

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」と表記する）に適合する機関内規程（城西大学動物実験規程、2007（平成19）年10月12日制定・施行、2010（平成22）年6月23日一部改正）が定められており、適正であると判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

2) 各種動物関連委員会

[現状と点検・評価]

基本指針に適合する「城西大学全学動物実験管理委員会」の下、「動物実験管理委員会」「動物実験委員会」「動物実験広報委員会」等、各種関連各種委員会が組織され、適正に運営されている。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

3) 動物実験の実施体制

[現状と点検・評価]

動物実験は城西大学動物実験規程第9章に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式1）、審査、手続きを経、適正に実施される体制になっている。動物実験の終了時には実験結果報告書（書式2）と動物実験終了・中止報告書（書式8）の提出が定められており、適正と判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

4) 実験施設の設置状況

[現状と点検・評価]

動物の飼育と動物実験が実施された1号館の実験室、16号館の実験室、18号館の実験室、21号館の実験室、1号館の動物飼育室、16号館動物飼育室、21号館動物飼育室、生命科学センター内実験室及び動物飼育施設はいずれも城西大学動物実験規程第10章第37条から第42条に従って設置管理され、城西大学全学動物実験管理委員会の承認を得たもので、動物実験に適切な施設であると判断できる（実験室設置承認申請書 書式5、実験室設置承認書）。また実験動物の飼育・管理に関しては同規程第11章第43条から第51条に適合する施設が設置されている（飼育保管施設設置承認申請書 書式4、飼育保管施設設置承認申請書）。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

5) 安全管理状況

[現状と点検・評価]

動物実験を実施する学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する「動

物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」に参加することが義務付けられており、安全管理体制は整備されている(実験動物施設利用の手引、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン)。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

II 実施状況

1) 動物実験委員会

[現状と点検・評価]

「城西大学動物実験規程」に基づき、委員会活動が実施されており、基本指針に適合し、適正に機能していると判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

2) 動物実験の実施状況

[現状と点検・評価]

2018(平成30)年度は128件の動物実験計画書が提出され、外部委員2名を含む動物実験委員会(6名)で本学の動物実験規程に照らして審査した結果、すべての動物実験計画が許可された。動物実験委員会による動物実験計画書の審査は、厳正・適正に実施されたと判断できる。

動物実験を実施するすべての学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する2018年度「動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」(第1回4月28日及び第2回5月12日)に参加することが義務付けられており、動物実験の実施状況は良好であった[実験動物施設利用の手引き(生命科学センター、薬学部動物施設)]。2018年度に実施された動物実験に関する動物実験計画書(書式1)、動物実験結果報告書(書式2)、動物実験計画(変更・追加)承認申請書(書式3)、動物実験終了・中止報告書(書式8)(延べ128件)を精査した(2018年4月11日)結果を別表にまとめて示した。別表の申請数とは最初の動物実験計画書の申請数であり、使用数は動物実験終了・中止報告書の使用数である。2018年度の実験動物使用匹数は以下の通りである。

・ラット	5,086 頭
・マウス	4,744 頭
・ハムスター	8 頭
・家兎	12 頭
・両棲類	156 匹
・魚類	312 匹
合計	10,318 頭

すべてにおいて所定の書式が提出され、申請数と使用数の間に当初の計画と大きな違いがあるものについては、全て動物実験計画(変更・追加)承認申請書が提出され、承認されている。

2018年度における動物実験に基づく研究成果は学会における発表48件、誌上発表として論文6報が公表された。学会発表の件数は昨年度とほぼ同様であった。誌上発表の論文数は6報と昨年度に比べ少ないが、動物実験報告書をみると投稿準備中としているものが多く、誌上発表を強く意識していることが判断できる。また、多くの研究成果が卒業研究論文、修士研究論文等にまとめられている。

2018年度において、実験計画書128件中17件の中止及び多くの実験計画の変更が認められた。しかし、実験計画の変更では、当初より使用した動物数が増加した研究も散見されるものの、変更申請された多くの研究では、超微量定量法の適用、実験群数の削減、あるいは実験の進捗状況による、実験動物の使用数を削減するためのものであった。その結果、2018年度に実験に使用された実験動物の総数は、前年度の11,749頭から12%余り削減されている。

[改善方策]

動物実験の実施状況は昨年度と同様に良好であった。研究成果の公表については、学会発表は昨年度とほぼ同様であるが、今後、さらに誌上発表数の増加が望まれる。また、多くの研究は、卒業研究、修士論文研究、及び、博士論文研究として実施されているものと考えられ、多くの報告書で、これらの論文についても「動物実験結果報告書」の「5成果」に記載されている。次年度も卒業論文等の件数を積極的に記載するようにすると良いと思われる。

3) 実験動物の飼育保管環境

[現状と点検・評価]

実験動物の飼育・管理に関しては城西大学動物実験規程第11章第43条から第51条に従って適正に実施された。東日本大震災の教訓から、動物飼育施設において、特に遺伝子改変動物の飼育に関しては、厳重な飼育場所と同時にネズミ返し等の防御策がとられている。

飼養施設における実験動物への感染症予防のために、21号館動物飼育施設は、16号館動物飼育施設及び生命科学センター内実験室と動物飼育施設は、2018年7月に、1号館動物施設は9月に消毒が実施されている。また、他の実験室や飼育室も適切に清掃されている。

[改善方策]

地震などによるケージの落下を想定し動物が逸走しないよう、引き続き飼育環境の整備に努める。過去にあった野ネズミの侵入は、確認されてはいないが、引き続き注意することが必要である。

4) 教育訓練の実施状況

[現状と点検・評価]

2018年度 第1回4月28日及び第2回5月12日に、動物実験に関わる全ての教員、大学院生、学部学生、研究生を対象とした実験動物施設利用説明・講習会が基本指針に沿って適正に開催された(実験動物施設利用の手引き、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン)。

犠牲動物に対する慰霊祭は2019年3月9日に催され、動物実験に関わったほとんどの学生、大

学院生及び教職員が参加した。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

5) 自己点検・評価、情報公開

[現状と点検・評価]

城西大学動物管理自己点検評価委員会による、2018年度の動物実験管理に関する自己点検評価は、全ての動物実験結果報告書が提出され、各委員会の報告書も提出されており、ここに同報告書を作成することができた。

情報公開については、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じて、1) 全学動物管理委員会等の名簿、2) 2017(平成29)年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書、3) 動物実験に関する届出・計画書式が公開されている。

[改善方策]

とくに改善を要する課題は見当たらないが、各委員会から提出される報告書等の期日は、今後、和暦(元号)と西暦を併記するよう提言する。

以上

2018(平成30)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数												研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果				中止		
	ラット		マウス		ハムスター		モルモット		家兎		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施			一部変更・延期して実施	
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了		継続	終了
JU 18001	80	80													1	Pharmaceutics 2018	○					
JU 18002	15	15													1	日本脂質栄養学会大会	○					
JU 18003	400	317													1	Chem Pharm Bull 2018				▽		
JU 18004	50	28					45	0							1	日本薬学会第33年会				▽		
JU 18005			20	20											1	日本神経科学学会大会	○					
JU 18006	30	30													1	ISSFAL(米国)	○					
JU 18007	100	100	40	2	36	8									1	Chem Pharm Bull 2018				▽		
JU 18008	55	10																		▽		
JU 18009	104	56													1	第34回日本DDS学術学会 優秀発表賞				▽		
JU 18010			30	30												卒業論文	○					
JU 18011	30	30													1	卒業論文 日本神経科学学会	○					
JU 18012	20	20	58	58												特になし				○		
JU 18013	65	65	65	65												卒業論文				○		
JU 18014			30	30												科研報告書				○		
JU 18015	63	63													2	日本薬学会第33年会 第28回日本医療薬学会年会 2018年度卒業論文 2編	○					
JU 18016	201	201													1	1 Biol Pharm Bull 2019 日本薬学会139年会 2018年度卒業論文 2編	○					
JU 18017	212	70														2018年度卒業論文				▽		
JU 18018	60	60														2018年度卒業論文 2編	○					
JU 18019	260	260														薬学実習A 解剖・生理 ラットの解剖(薬学科) 学生実習として、十分に教育 効果が認められた。	○					
JU 18020	121	121	616	616						56	56					薬学実習E(薬学科) 学生実習として、十分に教育 効果が認められた。	○					
JU 18021	60	69																			△	
JU 18022	16	54																			△	
JU 18023	30	33																			△	
JU 18024	75	75																			○	
JU 18025	66	24																			▽	
JU 18026										7	6										▽	
JU 18027										7	6				1	第28回医療薬学会					▽	
JU 18028	54	30																			▽	
JU 18029	66	33																			▽	
JU 18030	88	88													1	日本薬学会第139年会	○					
JU 18031	43	43													1	日本薬学会第139年会	○					
JU 18032	115	0																				
JU 18033	100	265													1	日本薬学会第33年会	△					
JU 18034	112	142													1	日本薬学会第33年会	△					
JU 18035	24	0																				
JU 18036			100	100											1	第92回日本薬理学会年会	○					
JU 18037	200	200													1	第92回日本薬理学会年会				○		
JU 18038	10	0	50	11												卒業研究					▽	
JU 18039	150	55													1	博士論文 日本薬学会発表 投稿論文執筆中					▽	
JU 18040	30	0																			▽	
JU 18041	20	102	20	0																	△	
JU 18042	30	0	10	29												卒業論文 学術論文投稿予定					△	
JU 18043	50	0																			▽	
JU 18044	60	24																			▽	
JU 18045	36	18													1	学術論文投稿予定 日本薬学会第139年会					▽	

JU 18117											18	18					両棲類の系統保存 ネットイソメガエル3系統(親16匹 孵化条件検討) メキシコサラマンダー1系統(親2匹 産卵条件検討)	○					
JU 18118			4	4													腸骨リンパ節法によるマウス における効率的抗体作製技 術確立		○				
JU 18119	144	175																				△	
JU 18120			32	0																			○
JU 18121			24	24													卒業実験2報予定		○				
JU 18122			144	0																		▽	
JU 18123												120	120				2018年度卒業研究発表及び卒業論文報告	○					
JU 18124												45	42										○
JU 18125												150	150				遺伝子導入したゼブラフィッシュとメ ダカを作成している途中	○					
JU 18126			54	54													投稿準備中	○					
JU 18127			60	60													学会発表、論文投稿予定	○					
JU 18128			60	0																			○
計	6689	5086	6549	4744	36	8	45	0	14	12	156	156	315	312	48	6							

* 「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。
動物実験申請総数:128件 中止件数:17件 総使用動物数:10,318匹 学会発表数:48件誌上発表:6報

2018（平成30）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 松本明世 副委員長 和田政裕 委員 石黒直哉 古旗賢二 一色恭徳 内田昌希
会議回数	1回（メール会議）
実施状況と結果	各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価についてメール会議を行った。 2018（平成30年度）城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長に提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は例年より2ヶ月ほど遅れたが、予定通りに行った。

2019（令和元）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 松本 和田 石黒 古旗 一色 内田

期 間 2019（令和元）年7月5日～2019（令和元）年7月12日

議案

1. 2018（平成30）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について
2018（平成30）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない一部訂正の上、承認された。
2. その他
 - ・報告書等の年号標記について
各委員会から提出される報告書の期日は、今後、和暦（元号）と西暦を併記するよう提案する。

以上

2018年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：荻原政彦（委員長）、小林順（副委員長）、清水純、木村光利
内田千城（外部委員）、平ふみ子（外部委員）、
三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、武下一男（事務長）

1 2018年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2018年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

2 2018年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

- 1) 日時：2018年4月2日、14時00分～15時00分、於：21号館会議室
申請書類数 118件（受付番号 JU 18001～118）（内新規動物実験実施計画書 37件）
が提出された。

本学の動物実験規定に照らした新規の C と D を中心に審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。内訳ランク A 0件・B 21件・C 44件・D 53件

- 2) 日時：2018年10月1日、12時50分～13時50分、於：21号館会議室
飼養保管施設設置変更承認（08901、F2901、08903 3件）、動物実験施設廃止承認（08941 1件）、動物実験施設新規承認（30002、30003、30004、30005 4件）、動物実験施設変更承認（08100 410、411、506、507）、および動物実験計画書（新規 承認番号：JU18119～128）が提出され、本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。
内訳ランク B 3件・C 1件・D 6件

(2) 動物実験管理委員会から提出された 2018年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

- 1) 日時：2019年4月11日、12時50分～14時30分、於：21号館会議室
実施報告書 128件（承認番号 JU 18001～128）（128件）が提出された。
本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

3 2018年度の動物実験委員会活動の自己評価

年度当初の活動計画を実行できたものと考えられる。

4 その他

城西大学動物実験規程（一部修正案）について

昨年度の動物実験施設に関する外部検証で受けた指摘事項について、城西大学動物実験規程の一部修正が行われた。城西大学動物実験規程（案）の確認を行い、承認された。

以上

2019年4月11日（木）荻原政彦（委員長）

平成 30 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 夏目、副委員長 真野、岡崎、田中享、金、大島（新）、菊地、森田、小川（JAC）
会議回数	3 回（メール会議 1 回含） 議事録は別紙添付
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出および加筆訂正 3. 平成 30 年度動物実験結果報告書の作成依頼および加筆訂正 4. 平成 31 年度動物実験計画書等の作成依頼 5. 動物慰霊祭の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 6. 平成 30 年度動物実験結果報告書、平成 31 年度動物実験計画書等の提出 → 全学動物実験管理委員会へ 7. 以下の項目を適宜、指導、実施する。 規定第 20 条 2 の(2)、(3)、(6)
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全学動物実験管理委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、平成 30 年度「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」を開催した（第 1 回 4 月 28 日（土）および第 2 回 5 月 12 日（土）15：30～、10-502）。 2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7 月）、加筆訂正後、全学動物実験委員会に提出した（9 月）。 3. 平成 30 年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（平成 31 年 1 月）、加筆訂正した（平成 31 年 3 月）。 4. 平成 31 年度動物実験計画書等の作成を依頼し（平成 31 年 1 月）、加筆訂正した（平成 31 年 3 月）。 5. 全学動物実験管理委員会から依頼のあった動物慰霊祭を薬学部動物管理委員会と共に開催した。 日時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 13：30～ 場所：10 号館 102 6. 平成 30 年度動物実験結果報告書、平成 31 年度動物実験計画書等を全学動物実験管理委員会へ提出した（平成 31 年 3 月）。 7. その他 <ol style="list-style-type: none"> 1) 次年度の動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の開催日時を協議した。 2) 薬学部動物施設および生命科学研究センターの平成 30 年度の飼養に関して点検し、各施設から飼養報告書が提出された（別紙添付）。

活動の 評価	<ol style="list-style-type: none">1. 概ね滞りなく行った。2. 第 1 回動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の参加者は 305 名、第 2 回は 284 名であった。3. 動物慰霊祭は、206 名が参加して行われた。
-----------	---

平成30年度第1回動物実験管理委員会 議事録 メール会議

参加者：夏目、真野、岡崎、金、田中享、大島新、菊地

日時：平成30年4月23日（月）

- 議題：1. 4月28日（土）および5月12日（土）に開催予定の「第1回および第2回の動物管理に関する教育訓練および施設利用方法講習会」の役割分担について協議し、決定した。
2. 平成30年度の計画（案）について協議し、決定した。

平成30年度第2回動物実験管理委員会 議事録

参加者：夏目、真野、岡崎、田中享、金、大島新、菊地

日時：平成30年9月11日（火）17：30～

場所：21号館会議室

議題：1) 中間期に提出された動物実験計画書（書式1）、実験室設置承認申請書（書式5）等の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験計画書（書式1）、実験室設置承認申請書（書式5）等の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

2) 医療栄養学科の学部学生（3年生）に対して、栄養生理学実習内で行う教育訓練について

全体的な講義を夏目が、16号館の動物施設の利用に関して金が説明することにした（9月26日（水）、16号館301号室）。

以上

平成30年度第3回動物実験管理委員会 議事録

日時：平成31年3月6日（水）16:00～

場所：21号館会議室

出席者：真野、岡崎、金賢、田中享、夏目、大島新、菊池

議題：1) 提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出することとした。

2) 動物実験計画書（書式1）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験計画書（書式1）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

3) 次年度の動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会の開催日時について

平成31年度の標記開催日時を、平成31年4月27日（土）15:30～（第1回）、5月11日（土）15:30～（第2回）とし、場所を10号館502とすることを決定した。

平成30年度委員会報告

委員会名	動物実験広報委員会
委員	委員長 上田秀雄 副委員長 片倉賢紀 委員 加園恵三、工藤なをみ、須永克佳、岩田直洋
会議回数	1回 (平成30年度活動報告について)
年度始めの計画	城西大学全学動物実験管理委員会の活動をホームページ等により広報する。
実施状況と結果	実施状況 平成29年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書をホームページで公開した。 平成29年度活動内容をホームページに掲載した。 届出・計画書書式等の更新版をホームページに掲載した。
自己評価	平成29年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書を公開し、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じた情報公開ができたと考えられ、妥当な活動が行われたと評価できる。

平成 30 年度 実験動物飼養施設報告書（薬学部動物施設）

(1) 21 号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。21 号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

1) 保守・点検

① 空調保守点検：平成 30 年 7 月 4、5 日

2) 消毒：平成 30 年 7 月 5、6 日

3) 物品購入：清掃・消毒用品等

4) 設備の追加整備

① 前室でケージ交換作業を行えるよう、大型流し台、床敷き回収装置を設置した。

② 手洗い用の微酸性電解酸性水生成器を設置した。

(2) 16 号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。16 号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

1) 保守・点検・修繕

① 空調保守点検：平成 30 年 7 月 3 日

② 空調設備のオーバーホール、部品交換を行った。

2) 消毒：平成 30 年 7 月 4、5 日

3) 物品購入：清掃・消毒用品等

4) 設備の追加整備

① 床敷き回収装置を設置した。

② 手洗い用の微酸性電解酸性水生成器を設置した。

(3) その他

1) 利用者のマナーについて

動物室の利用マナーについて、大きな問題は発生しなかった。

以上（文責 岡崎）

平成 30 年度 実験動物飼養施設報告書 (理学部動物施設)

(1) 1号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。1号館動物施設の保守・点検・消毒・物品購入等を下記の通り行った。

1) 保守・点検

①空調保守点検：平成 30 年 9 月 5 日

②給排気及び空調フィルターの交換を行った。

2) 消毒：平成 30 年 9 月 5、6 日

3) 物品購入：飼養用品の補充、清掃・消毒用品・純水装置フィルター等

(2) その他

1) 利用者のマナーについて

利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用しており、問題はなかった。

2) 動物運搬について

配布されたボックス及び収納バックにより運搬しており、問題はなかった。

理学部動物管理委員会委員長

北川 浩子

平成 31 年 4 月 1 日

実験動物飼養施設報告（生命科学研究センター）

平成 30 年度生命科学研究センターにおける実験動物の飼養につきましては、年間を通し、概ね良好な飼育環境を維持することができました。

また、2019 年度の新規事業として、1. 「高圧蒸気滅菌装置（大型・小型）の点検整備」2. 「遺伝子組換え動物飼育に伴う設備整備（生命科学研究センター飼育室 6）」の申請を行いました。

修繕、保守点検、消毒作業、環境検査、SPF ヘアレスラットモニタリング検査、物品の購入等を下記の通り行いました。

修繕

- 5 月 2 5 日 換気扇取付工事
- 7 月 1 1 日 高圧蒸気滅菌装置修理
- 9 月 9 日 4 階 飼育室前室 換気扇不良修理
- 1 0 月 2 2 日 流水架台 タンク修理
- 1 0 月 2 5 日 オートクレーブパッキン破損
- 1 1 月 2 日 5 階 水漏れ修理
- 1 1 月 6 日 LAN 工事
- 1 2 月 7 日 4 階 飼育室 2, 3, 4, 7 の照明点灯時間タイマー変更
- 1 2 月 1 9 日 4 階 飼育室 2, 3, 4, 7 の照明点灯 確認
- 1 月 4 日 5 階の足ふみ式水道修理
- 2 月 2 6 日 空調機点検（ヘパフィルタ交換工事）
- 3 月 2 7 日 エアコン加湿器蒸気漏れ修理

保守点検

オートクレーブ（大型・小型）装置部品交換 2 月 1 5 日

消毒作業

生命科学研究センター消毒清掃作業（定期作業） 7 月 3 日～1 9 日

環境検査

- 1 回目 6 月 1 3 日、異常なし
- 2 回目 1 0 月 2 4 日、異常なし
- 3 回目 2 月 1 3 日、異常なし

SPF ヘアレスラットモニタリング検査

- 5 月 1 4 日 定期検査 異常なし
- 9 月 1 8 日 定期検査 異常なし
- 1 月 2 8 日 定期検査 異常なし

物品の購入

業務用冷凍庫、衣類乾燥機、麻酔装置、自動給水ノズル TV-25 部品、ラット、マウス、エコン PC、ねずみ返し、動物はかり、圧力計 A 型、FP-20N プラグセット（エア用×2 ドレン用×1）、ヘンペイ活栓瓶、減圧弁、ニュービコースワイパー、アクアフィルター10 μ 、カネフィール、エコンアーク 30、水中殺菌灯、防塵カバーオール、消毒用エタノール、ヒビスコール、ツルクロン、マイクロカット、飼育棚用キャスター、トランスポートアガー、ニトリストタッチ、マイディリーグローブ、無塵衣、保護メガネ、ゴーグル、P-カットテープ、コンフォートサービスタオル、エスクリニカルパック、ルテウム注射液、ビニールテープ、ザコネットチューブ 50M、ポリテープ2本、業務用特厚ポリ袋、モップ絞り器、水拭きモップ、軍足、亀の子タワシ、ホワイトウオッシュジェル、ドキュメントスキャナー、レーザーカートリッジ 322 II (キャノン)、リサイクルペーパー、11.6 型タブレット、スチームクリナー、レーザーカートリッジ、全学動物実験管理委員会角印、イソフルラン吸入麻酔薬

生命科学研究センター

所長 岡崎真理